

国際開発研究 大来賞

OKITA Memorial Prize for International Development Research

受賞候補作品 募集のご案内

本事業には公益財団法人 三井住友銀行国際協力財団による助成を受けています

「国際開発研究 大来賞」は、国際開発の分野における研究奨励と促進、良書の発掘に資するため、国際開発の様々な課題に関する優れた指針を示す研究図書を顕彰するものです。

2026年度は創設から第30回を迎えます。みなさまからのご推薦・ご応募を歓迎します。

対象となる作品

- (1) 開発援助を含む国際開発の分野における課題を主たるテーマとする日本語の研究図書（翻訳、随筆、エッセイ、体験記、自伝、紀行文、事業報告書等を除く）であって、国際開発の実践活動の向上に資するもののうち、特に斬新性、普及性の点で顕著な業績、貢献が認められるもの。
- (2) 個人又は団体が編者あるいは著作者の場合は、個人の執筆者名が明記されているもの。
- (3) 2025年4月から2026年3月までの間に、初版が国内で市販されたもの。

大来 佐武郎（おおきた さぶろう）氏

1914年旧満州大連市に生まれる。1937年東京帝国大学工学部卒業、逓信省入省。戦後は経済安定本部、経済企画庁においてエコノミストとして活躍。1963年に同庁総合開発局長退官、1964年日本経済研究センター理事長就任、南北問題や開発援助分野で活躍。国際開発計画委員会（ティンバーゲン委員会・ピアソン委員会）の委員や『成長の限界』を刊行したローマクラブのメンバーを務める。1971年国際開発センター理事長、1973年海外経済協力基金総裁などを歴任し、1979年の大平政権において外務大臣を務める（～80年）。その後も国際大学学長、対外経済問題諮問委員会座長、FASiD初代評議員会会長、国際開発学会会長等、国際開発分野で数多くの足跡を残す。1993年逝去。

審査・表彰

表 彰 選出された受賞作品の著者に、正賞（楯）と副賞（50万円）を、同著出版社に記念の楯を贈呈します。

審 査 当財団国際開発研究センターによる予備審査を経て、審査委員会が行ないます。

推薦・応募

推薦者（自薦・他薦可）は、所定の「推薦書」へ入力し、email添付にて送信とともに、当該図書2冊を添えて応募・推薦してください。なお、推薦書類・当該図書は返却しませんのであらかじめご了承ください。

締 切 2026年5月末

受賞作品の発表と表彰式

2026年11月頃に推薦書指定先へ通知、発表し、表彰式を行います。

推薦書ダウンロード・推薦・お問合せ先
下記事務局へお送りください。

https://www.fasid.or.jp/okita_memorial_prize/2_index_detail.php

一般財団法人 国際開発機構

国際開発研究大来賞 事務局（服部）

email: okita@fasid.or.jp / TEL: 03-6809-1997

